

2005年6月16日

報道関係各位

「ノバルティス老化および老年医学研究基金」 2005年度（第19回）研究助成受賞者決定

「ノバルティス老化および老年医学研究基金」（主催：社団法人 日本老年医学会）の2005年度（第19回）研究助成の受賞者5名が別紙のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

選考委員長で健康科学大学 学長の折茂肇先生は次のようにコメントしています。

「急速な高齢化が進む日本はもちろんのこと世界的にも、老化および老年医学の研究はますます重要になっています。基礎から臨床にわたるさまざまな革新的研究を支援していくことは、次世代への大きな財産となることでしょう」

この基金は、主に老化にともなう生化学的、薬学的、免疫学的、医学的分野の研究を支援し、老年医学および老年病学の革新的な研究を促進させることを目的として、1986年に設立されました。

授賞式は、6月16日（木）に東京で開催される第47回日本老年医学会学術集会の公式行事として行われ、また17日（金）には2003年度の受賞者6名が、当学会にて研究成果を発表します。

記

- 主 催：社団法人 日本老年医学会
- 協 賛：ノバルティス ファーマ株式会社
- 授 賞 式：2005年6月16日（木）
於：第47回日本老年医学会学術集会（東京国際フォーラム）
- 応 募 数：23 件
- 助 成 金：各150万円（税込・総額750万円）
- 受 賞 者：別紙参照
- 選考委員：別紙参照

以上

**ノバルティス老化および老年医学研究基金
2005年度（第19回）研究助成受賞者**

[五十音順 / 敬称略]

いとう ひろし

伊藤 裕 （京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科）
ヒトES細胞を用いた脳老化に対する再生医療の開発

うめがき ひろゆき

梅垣 宏行 （名古屋大学医学部附属病院 老年科）
レビー小体型痴呆の診断治療に関する総合的研究

えとう まさと

江頭 正人 （東京大学大学院 加齢医学）
血管石灰化の分子機構の解明

なかざと まさみつ

中里 雅光 （宮崎大学医学部 第三内科）
高齢者のソマトポーズにおける新規ペプチドホルモングレリンの役割と
運動における意義

みなみの とおる

南野 徹 （千葉大学医学部附属病院 循環器内科）
老化シグナル制御による生活習慣病治療に関する基盤研究

<選考委員長>

折茂 肇 先生（健康科学大学 学長）

<選考委員>

井藤 英喜 先生（東京都多摩老人医療センター 院長）

後藤 佐多良先生（東邦大学薬学部 生化学 教授）

辻 省次 先生（東京大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授）

鳥羽 研二 先生（杏林大学医学部 高齢医学 教授）

橋爪 潔志 先生（信州大学大学院医学研究科 加齢病態制御学 教授）

齋藤 康 先生（千葉大学大学院医学研究院 細胞治療学 教授）

高柳 涼一 先生（九州大学大学院医学研究院 老年医学 教授）

土居 義典 先生（高知大学医学部 循環・神経・加齢内科学 教授）

長瀬 隆英 先生（東京大学大学院医学系研究科 呼吸器内科 教授）

丸山 直記 先生（東京都老人総合研究所 加齢臓器障害研究グループ グループリーダー）